京城日報
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介

賠償金決定

日本の受取る可き賠償金額

スパー會議に於て日本の受取る可き賠償金額は獨逸賠償金の千分の七十五と決定せり（倫敦電報）

寧ろ獨の意志を尊重

スパー會議形勢如何

スパー會議に於ける形勢の推移に關しては獨逸人民は寧ろ今日の逃行論的觀念を得るに至らず甚し右に關する諸報道は區々にして悲觀樂觀兩說共催に數時間內に轉換する有樣なり而して時局を判斷する人々の側に於ては聯合國が獨逸の建設的必要に對し耳を藉さざる樣のことなく寧ろ獨逸の意志に關して考慮を拂ひ居れば聯合國は各自の利益に牴觸する爲獨逸に有利なる形勢の轉換を見るべしとの意を示し頗ろ樂觀し居れり（伯林電報）

日英協約と聯盟

聯盟規約不抵觸

國際聯盟へ通告

國際聯盟理事局は七月八日附珍田カーゾン兩氏の署名せる日英兩政府よりの左記通牒を發表せり（倫敦電報）

日英兩國政府は國際聯盟規約を尊重し例へ日英兩國の協約が明千九百廿一年七月以後は依然繼續さるゝ場合も國際聯盟規約に抵觸せざる形式を原則とする旨兩國政府連名にて國際聯盟に通告するものなりと

別報

日英兩政府は日英同盟を更新する場合同條約は國際聯盟條約に合併せざるべからずと云ふことに双方の意見一致したり（倫敦電報）

日本は野心を有せず

將來大國家の一とならん

シュルマン博士の聲言

十四日カーメル大學總長シュルマン博士は曰く「日本は將來恐らく英國に類似せる世界に於ける大なる國家の一となるに至るべし日本は亞細亞に何等の野心を有せず而して吾人は日本に對し友誼を疎んずるの必要なし丹は吾人の支那に與ふべき如何なる援助も日本に對し能く影響を與ふべきなり」と（倫敦電報）

定國軍の優勢

北倉占領＝直隸軍潰走

十六日正午楊村を占領せる定國軍は勢に乘じて三箇旅團の直隸軍を追擊し午後五時北倉を占領し天津附近に到著せり鹵獲品は砲四門機關銃七門小銃無數なり尚京漢線方面の定國軍は十六日確實に高碑店を占領せり天津北京間に直隸軍の影無く散亂逃亡せり定國軍の捷利は全く砲の精鋭に起因すと（北京至急電報）

熊克武軍大敗

雲南軍資州占領

四川督軍熊克武軍大敗し成都に向ひて退却し雲南軍は既に資州（成都の南）を占領せるより熊督軍は成都を去り士氣鼓舞の爲め戰場に出發せり第三、五兩師は中立の態度を執り第四、八兩師も熊督軍を援助せず（國際通信＝成都電報）

王吳兩軍戰鬪

十六日京漢鐵道沿線及び漢口驛附近にて湖北督軍王占元氏と吳光新氏の兵戰鬪を交へし爲め人心恟々たり（國際通信＝漢口電報）

吳師長愈出動

吳佩孚師長は最初奉天軍總司令の任に當る可く軍事會議にて希望せしも北邊防備の必要より張作霖氏の爲め懇諭され肺病の爲に堪へざる狀態なりしが愈々廿九師の騎兵一部を統率し近く入關すべしと（奉天特電）

討段軍部署決定

出動兵意氣昂らず

十六日の奉天軍事會議にて討段軍の部署決定し總司令張景惠將軍其他參謀長以下任命さる總司令部は山海關に設けらる可し張作霖氏は自ら陣頭に立つ可く壯言しつゝあるも出動兵の意氣昂らず（國際通信＝奉天電報）

曹軍攻勢を執らず

曹督軍曲彼れに在りと稱す

曹錕氏は某所に電報して曰く邊防軍は近畿に兵を增し民を擾し猶進行を止めず大兵を以て西方は涿州、固安、淶水等を占領し且つ高碑店方面に進軍し來り東方は北極廟一帶に據りて楊村を占めたり我軍は防禦に努め攻勢を執らず而も彼の軍は迫る事急なり曲彼にあらや明かなりと（上海電報）

日本軍增援請求

在留邦人保護の爲め

支那政府の戰鬪漸次猛烈ならんとするより北京居留邦人保護の必要上天津駐屯軍司令部に日本軍一個中隊の增援を請求中なり（天津電報）

聯合軍組織か

天津に於て各國軍隊司令官會議を開き此際聯合軍を組織して鐵道を保護す可く協議中なり（天津電報）

曹氏行方不明說

保定に兵亂起り曹錕氏行方不明說あり但未だ確かならず（天津電報）

直隸軍不遁入議決交涉

各國領事は緊急會議を開き北倉附近にて交戰を喰止むる能はざる直隸軍の敗兵に對し條約に依り天津に遁入す可からざる旨の議決の交涉せり（天津電報）

第四十三次帝國議會

鐵道問題論詰

元田鐵相馬力を掛けて猛進

對支那及西伯利問題討議

十七日の貴族院本會議

十七日の貴族院本會議は午前九時十五分開議諸般の報告ありて昨日よりの質問を繼續す

中村是公氏（研究會）登壇今回の追加豫算中鐵道計畫の資本勘定即ち建設並に改良鐵道費計上に關し肯背し難き點ありとて前に元田鐵相の答辯せる處を捉へて同氏專門の鐵道論を以て鐵相に肉迫し鐵道費は會計法第五條に抵觸するなきや又鐵道問題に關し政友會が積極擴張とて之れを利用せるが如く世間に喧されつゝあり今回の一億五千三百萬圓と云ふ莫大なる鐵道豫算を許すべきや否やは豫算論を超越した法規論に屬するものなりとて上院稱に見る質問を爲すこと一時間に亘り漸く降壇するや高橋藏相登壇答辯する所あり

元田鐵相 登壇中村君の質問は質問に非ず議論に屬するものなり單に反對論として信ずるものなりと答辯するの要なしと格別之に答辯する前提し（一）會計法第五條違反に非るは藏相答辯の通りなり（二）事業費の增加は勿論政府も之れを認むるものなるも之が按排宜しきに努むべしと答へ進んで其の內容に入り法規の解釋に論及して一々詳細に答辯し鐵相大童となりて壇を降るや議長休憩を宣す時に十一時四十五分

午後一時半再開黑田副議長席に著き

中村氏 自席より重要なる點々擧げて質問すべしとて先刻お尋ねせし據豫算設豫算は所謂會計法の必要缺くべからざる物なるや又是非今期議會に提出せざるべからざるか如何元田鐵相說明の輕便鐵道敷設法に依る計畫に就きては何等の點を以て斯く斷ぜらるゝやと質し之に對し

元田鐵相 答辯詳細說明すべき旨を述べ次いで

廣澤金次郎伯 登壇對支不干涉聲明に關する日外務當局の措置として支那の聲明なる當局の措置として唯支那軍隊と我の關係は支那の邊防軍は我參戰借款に依りて組織せられ居る關係上中外より嫌疑を招けるが如何又青島還附は屢次聲明せる所なるが其の交涉經過如何次に西伯利出兵後の狀況如何次に西伯利に關せるものなるが故に速かに軍政を撤し民政を布くの適當なるを信ず政府に於て之れを施行するの意志ありやと問ひ

江木千之氏 自席より中間調查會に讓るべきものあるも尼港問題は委員會に於て質問したしと前置し該事件の責任は政府にあることは何人も認むる所なるに政府は言を曖昧にして其責任を回避せり吾人が本院にて質問を爲せるに對する原首相の說明は前後の矛盾あり尚陸相の答辯の如きも其要領を得ず

原首相 尼港事件に關しては既に答辯せり政府は其の當時執るべき手段を執りたるものにして何等の失策なし從つて失策の責任を負ふべき者に非ずと答へ

江木氏 尙ほも彼れ程の重大事件に關し政府は之れ以上說明し得ざるか更に質問せんと詰り首相夫が宜がらんと答へて散會（東京電報）

出征軍凱旋期

昨年七月西伯利出征以來後貝加爾州に在りて過激派討伐に從事の第五師團の精鋭は愈々八月中に撤退凱旋すべしと（廣島電報）

土木工事期短縮

勞銀昂騰か

臨時議會に於て朝鮮鐵道追加豫算案の通過を見んか去る二月議會解散に次ぐに財界不況の襲來により久しく閑散を極めし朝鮮土木建築界も活況を呈すべしこの觀測は強ち不當ならざるが本年度鮮內土木建築界は過般の議會解散の結果例年なれば四月より工事著手さるべきものが臨時議會終了後ならざれば起工し難き等の事情により其工事活動期間は來るべき八九十の三ヶ月間を有するのみにて其後は直ちに結氷期に入ることゝて本年度の工事活動期は頗る短縮せられたる者と云ふべく從つて土木建築業者中には所期の工程を終了する能はず勢ひ工事半途にして休みをなさざるべからざるものも生ずべく更に一般財界の不況により漸次低落の傾向を生じ居りたる勞銀の如きも工事期間短縮されたる爲再び昂騰の氣勢を示すに至るべしと

道府協議會內容

四五日中に發表されん

各道に道協議會を、各府各面に府又は面協議會を、各郡に學校評議會を設置して之を諮詢の機關とし將來此機關を擴張して地方自治の基礎たらしむべき由は屢次報道したる所なり右は今月十日頃閣議を經て發布さるべき旨の所稱々の都合により今日に至りたるが本案は既に去る十三日の閣議に於て通過したれば御裁可あり次第直ちに發布さるべく其の期日は推斷の限りにあらざるも或は茲三四日中に發布を見るに至るべきかと一部の人々に推測されつゝあり依つて其內容を聞くに各府卽ち十二府及廿餘郡の府に面所在地の協議會には選擧制による議員を置くべく其人員は面の大小と在住者の多寡により定むべく各府中にても仁川、群山、木浦、釜山、馬山の如き比較的內地人ならざる所在地には大抵府は五圓以上の納入者にして二十五歲以上に達したる者を以て選擧權者となすべく道協議會員は任命制による道面の協議員と共に各府各郡に設置さるべき朝鮮人側の學校評議員の選擧權並に被選擧權を有するものとし內地人朝鮮人の區別なく府面協議會員を基礎として總て道協議會員の任期は三ヶ年となすべき乃至三十名の協議員を置き各道の大小により一ならず八名乃至三十名の協議員を置き各道協議會員の數は大體に於て朝鮮人は內地人よりも多數ならしむべしと

株式保合持續

大勢は底入れ

財界急變以來の株式市場に其の部度記載せし如くなるが其後市況は所謂颱風一過後の商情として一進一退を續け大株二百圓中心とせる保ち合歩調を示すに至りしより既に約二ヶ月に亘るに右は要するに財界の未だ徹底的安定を得ざるため政府は種々の救濟策を講ずると雖も金融の梗塞は依然たるものあるが爲めにして今や人氣の大牛は殆ど底入れを爲したるものなりとの自信を有しながらも未だ安心して放資し難き事情にある折柄とて目覺ましき成行をなさず之れ事とし證券界の態度を持續しつゝあるもの、如しされど一般商品界の情勢は徐ろに活路を開かんとし、輸出貿易の如き其の一部のものにありては可なり旺盛を示しつゝある此時に際し前途の悲觀は大に考慮に値すべきかと

臨時議會見物

東京支局 傍聽子

新人の演說

永井中野田淵三君の舞臺振り

▲今度の議會に『何か少しは行るだらう』と期待されて居た所謂新人が三人ある。什れも未だ年が若く當選や情實に拘束されたところが尠いから多少型を脫けたところをやるだらうと思はれたが果して流石に三人ながら揃つて初陣の一戰を試みた。その三人とは永井柳太郎君、中野正剛君、田淵豐吉君だ。▲永井君が八日の議場で、原總理を右手に睨み据ねて『何等高遠なる理想もなく』とやつた時は流石の白頭宰相も永井君が親分の大隈そのまゝの口調に擽ぐつたくなつたか破顏一笑した。長身をウンと反り返らせて左の手を脊へ廻して堂々と陣腕演說をやるところは、誰く買つても大隈敎授プラス、アルファだ。▲併し、遂々、調子に乘つて『現內閣は明治維新の政治を布くもの、西にニコライレュンあり、東に原總理あり』と言つた時には流石にレニン扱された原總理の顏は眞赤になつて緊張してゐた。永井君も思ひ切つたことを言つたものだが、永井君に言はせればレニンは勞働者の專制政治を行ふもので三圓納稅者格を認むる原總理は資本階級の專制政治を布くものだといふのだ、▲それは兎も角、その時の政友會の議席の騷ぎ方といつたら、まるで蜂の巢を擾亂したやう、幹部が平潮次と一所になつて妨害を始め喧々囂々見る目も痛々しい。兎に角、原總裁が過激派首領に比せられたのだからその手前一言無きを得ないわけだ。お蔭で永井君は翌日懲罰委員會に付せられたが、演說としては熱もあり能もあり、議場を引き緊める力がある。若しもう少し洗練して上滑べりのしないやうになつたら確かに堂々たる闘士が出來やう。▲中野正剛君の尼港事件調査會設置決議案提出理由の說明演說は、參謀本部の縱橫やら、外務省の緊張やら、外交調査委員會の內容やら、ゴッタ交ぜて材料の新しいところにつつみやうと努めたらしく、理責めにグングン押して行つたが態度も辯舌も永井君の熱が無いので何うしたものか田淵豐吉君の普選案說に至つては、獨り君のために惜むのみならず、議會の權威のために怨せに出來ないとだ。『普選論者と言ふ連中は、皆あの程度の獻當り屋の不眞面目な奴等さ』と早速政友會連中に北叟笑む材料を與へて了つた。（十三日發）

京春電氣內容

山科禮藏外千五名よりの出願に係る京春電氣鐵道會社設立計畫の內容を聞くに江原道華川郡雷嶺に於て北漢江の河川を引用し同所に發電所を設け電氣を發生せしめ輕便鐵道による乘客荷物の輸送並に之に附帶する事業及び電燈電力供給事業を營むを目的とし鐵道經過地名は起點を京城府南大門停車場に連續せしめ仁倉里、金谷里、磨石隅里、淸平川里、加平、江村里を經て春川に至る又電燈電力供給區域は華川、春川、加平、淸平川里、磨石隅里、金谷里、仁倉里及び京城府等なりと

仁川期內氣配

期米の保合は上下何れに分岐すべきかと市場一般の注目せし處なるが形勢より突然陷地の關門も敢て押しに伴れ三十二圓の關門も打破する所となり一圓九十二錢と不勢に散會せしが果して此證の下旬は未だ容易に斷し難きも何分客地より殘し來る好轉氣の鞘に目先定米高ら利日淳く買の嫌氣投げを喚起せんとする傾向に今日曜中の內氣配も一段の不味を增へる向き多きが如し（仁川）

西大門小學校後援會

西大門尋常高等小學校にては教育父兄中大垣丈夫外十七氏が發起人となりて同校後援會設立中なりしが五百四十有餘名の會員を得運動器具設備品に要する寄附金も約二千圓を得たるより十七日午後二時同校に於て後援會の創立會を開きたるが二百餘名の來會者あり最初校長橫山鋼三氏設立經過を報告し大垣氏座長に推されて議事を進行し會則の承認を得て無滯成立を告げ評議員は選擧を略して發起人に一任する事に決し夫れより大垣氏及總督府醫院の植村醫學博士の有益なる講演あり四時過ぎ閉會したり

軍司令官快癒

腸炎に罹りて臥床中なりし宇都宮軍司令官は全く快癒し殆んど平常と何等異ならざるも當分靜養すべしと

龍山市民大會

漢江治水策研究

漢江洪水の慘狀に鑑み龍山市民は漢江治水策に關し種々協議する處あり來る二十日午後八時より元町小學校に於て市民大會を開催すべしと

商工聯合委員會

京城商業會議所會議員等の聯合委員會は十七日正午より京城商業會議所に開催し店員公休日利用法に就き協議せる結果來る八月第一日曜日午後七時より公會堂に於て店員慰勞會を開催することに決定せり

研究會例會

客月組織されたる株式研究會第二回例會は十七日午後八時より京城俱樂部に於いて開會されたるが當夜は芳林京株專務監查役の『吾...

公會私會

▲海東銀行披露 株式會社海東銀行にては十九日午後六時より朝鮮ホテルに於て開業披露をなすべしと

本號四頁

人事

▲高島第二十九師團長 十八日春川へ
▲松浦倉吉氏（第十九師團經理部長）同上
▲坂東俊八郎氏（第十九師團軍醫部長）同上
▲大野軍參謀長 十七日來城
▲宮崎信治氏（第二十師團司令部附少佐）十七日入城

寸鐵

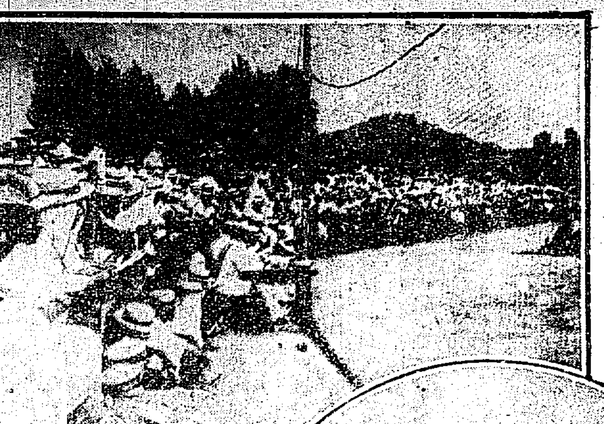
▲議會は最ふソロソロ重大問題の去つた跡だれて來そうだ尤も野黨連が何か捨鉢の形で其れや之れやで噛み付くけれど政府の力ではエ、面倒だと云はぬ許りの仕打ち▲普選案で不意打ちを喰つた野黨は最ふ手の出し樣もなからう惡意の不周倒であつた處は自ら招いた失敗だ▲無條な衆議院に對して貴族院は却々緊張の氣がある樣にも見へるが政府の方では何だ其處迄でと、ら笑つて居る樣にも見へる▲だが研究會と政友會とは共に徒らに大を擁して無爲であるらしい研究會こ...

娛樂世界 八月號 多情 多恨 女揃ひ
小染と大臧鹽（小金井桃川）多情多恨の仇討（小野田三筑亭）東禪寺の仇討 有松屋美代吉（三遊亭小圓朝）娘小町 紀の國屋 忠直の亂行 剃髮の卷 相緣奇緣 小さんが氣味の惡い女 三五郎殺し 千代田江島生島 娘成金 市川吉三郎 漫畫西瓜芝居 榮つた子の春 八月の運勢 大懸賞 名代の鐵棒おかね 遊女宮太夫 津の國屋 双兒の仇討 相場師の妻 烈おぬい 勸比丘尼 疑問の女客 逆さ富士
定價金六十錢 郵稅二錢 東京日本橋町娛樂世界社 振替東京三八三四四番

新荷着 WHITE HORSE 白馬印ウイスキー 東京 京城 靑木堂

○十八日ヨリ既往將來人事百般ノ鑑定御依賴ニ應ズ
千里眼鑑定師志津田虎三先生來京
鑑定所 黃金館前（黃金亭）階上
鑑定時間 毎日 午前八時ヨリ午後八時迄
尙ホ御依賴御希望ノ御方ニハ先生ノ出張ヲ乞フ事ニ相成居候間電話又ハ書面ヲ以テ御通知被下度候
天眞樓內 志津田執事
鑑定料御隨意

丁子屋夏服大賣出
京城南大門通
アルパカ上衣 二〇・〇〇
格子セルズボン 一八・〇〇
ポンジー上下 一四・〇〇
ダツクリンネル上下 一四・〇〇
シユランク上下 一七・〇〇
ポプリン上下 一三・〇〇
紋リンネル詰チヨキ 六・〇〇
其他數十種多數出來居候
地方ハ品質寸法御申越被下候ハバ弊店ニテ御見立テ御送附可申候



(下圖)法政軍對京城倶樂部軍の野球戰(龍山グラウンドに於て)
(上圖)熱狂せる觀衆

大毎特派員 布施氏被殺害 過激派の爲め イルクーツクに於て

莫斯科よりの歸途に在りし大阪毎日新聞社特派員布施勝治氏はイルクーツクに於て殺害されたる旨其筋に確報ありたり(知多電報)

氏は一流の 露國通だ

右に就き布施氏の知己は語る『氏は通信員として我國に於けるあらゆる階級を通じて露西亞の事情に通じ内外に於ける第一人者として夙に識者間に高かつた人である永らく露都ペトログラードに學んで露語の研究に多大の努力を致して最近に於ける氏の露語は其日本文よりも堪能なる位なりとは氏と共に露都に遊んだ人の言である露國革命後露都を引揚て以來浦鹽に大毎の特派員として在つたが昨年春遂に謎の都莫斯科に入つて勞農政府の治下に在る露國に親しく接し以て之を世界に傳へ度いと云ふ大望を抱き遠く歐羅巴より芬蘭に渡り露芬國境より屢々勞農政府に打電して入國の許可を求めたけれど遂に許す所とならず氏は八方に手を廻して苦心慘憺入國を計畫し本年二月遂に勞農政府の許す所となつて國境より特別列車に乘じ莫斯科に入り親しく各要路の各領袖と會見して其都度大々的長文の電報を以て之を大毎紙上に發表し世人を驚かした事は何人も知る所であらう爾後莫斯科に於ける大膽の觀察と了り最後に過激派の御大レーニンと會見し去る六月五日莫斯科を出發し西伯利を經由歸還の途に就いたのであるが途中でイルクーツクに於て不幸過激派の毒手に掛つて非業の最期を遂ぐるに至つたのであらう

官有地 拂下問題 清津府廳に 檢事局活動

清津府官有地拂下問題に就き突然清津支廳檢事局の活動となり十六日清津支廳檢事以下府廳に到り關係府吏並に帳簿類を押收し嚴重取調の結果引續き檢事局にて取調中なるが事件擴大するやも知れず(清津特電)

鴨緑江增水 江岸一帶の 浸水で危險

十三日來の霖雨は十七日朝來更に猛威を加へ鴨緑江の增水は[illegible]しく恰も舊暦六月二日の滿潮に際したる爲め十七日正午頃には早くも江岸一帶に浸水せり尚ほ數時間連續降雨あらば危險に瀕す可しとて警戒中なり(安東縣特電)

大連の 豪雨 浸水三尺で 電車不通

豪雨の爲め大連埠頭大豆野積場は浸水三尺に達せる所あり埠頭倉庫十八、十九、廿の各倉庫には浸水し損害少からず市街各所も出水浸水の爲め一時不通となれり今回の豪雨は滿洲一帶なるが殊に大連は甚だし(大連特電)

釜山の 對抗試合 於大正公園

最近新に組織せられたる釜山運動協會にては今回京城朝鮮體育協會の招聘により渡鮮せる法政大學野球部一行との交涉成り京城に於ける各チームとの試合終了後を迎へ釜山日報社及京日釜山支局の後援により來る二十一日二十二日の兩日に亘り午後三時より大正公園に於て釜山選拔との對抗試合を爲す事に決定せるが當地野球界の戰鬪比較上興味ある野球戰として一般野球家は當日の至るを鶴首して待ち焦れつゝあり[illegible]三伏の酷暑に[illegible]たる意氣を示し猛烈なる練習を試みつゝあるが尚今回は總督府の補助を得ず府及學校の諒解を得て入場券を販賣する事となり剩餘金の生ぜし場合は運動協會の基本金若くは公園運動設備費に當てる事に決せり

▽…神戸高商對京城庭球戰…ム

朝鮮老儒者の 人道公議所 とは……何か 曰く『國粹の發揚』

過般某新聞の所論に慨慨して起つた朝鮮老儒者の一團は名を人道公議所と稱し京城三清洞に假事務所を設け同志を募りつゝあつたが此の程

一般に向けて 趣旨書を公佈した其の要旨を摘めば天の道は人之を稟くれば仁義禮智の性となり之を行へば父子の親、君臣の義、長幼の序、夫婦の別、朋友の信となる。其性を指して道と謂ひ其の行ひを倫と謂ふのであるが此四者を

幷せ行へば 家に在りては家齊ひ、國に在りては國治まり、天下に在りては天下平かである然るに『今、天下社會の組織や學校の教育は皆其末を重んじて其本を輕んずるが故に綱紀は破れて秩序紊亂し平等自由の說は公理に由らずして欲する所を恣にし家に在りては家を亂し國に在りては國を亂し天下に在りては

天下を亂し [illegible]吾人茲に見る所あり此の會を起し不偏不黨を以て[illegible]破り不內不外を以て[illegible]を除き至公至正を以て[illegible]を伸べ至平至和を以て

天下に順ひ [illegible]せしめむとするので[illegible]李珠、丁[illegible]、鄭蘭教、金振生、鄭寅漫氏等一百十名記名してあるが同會は其の主義を廣める爲に左の事業を行ふさうである

一、道德宗教、禮儀の宗旨を以て廣く講演會を開き民衆を鼓舞振作せしむる事
一、人道に關ずる所を公議し仁義の路を拓し禮讓の門を啓く以て狂瀾を撲き頹俗を矯正する事
一、人道上今古の格言、善行等を蒐集し著作發行して國粹を發揚し以て風教を善導する事

博士講演

青年會主催[illegible]七日午後八時より[illegible]內地大阪に於て[illegible]聽衆[illegible]を[illegible]して二時間餘に亙る[illegible]聽衆に多大の感動を與へ十時半盛大裡に散會せり

合併大相撲四日目 日曜の書入で大入 鞍ケ嶽は相變らず元氣

四日目は十八日で日曜で書入日である朝から客足多く先づ大入滿員の景氣である[illegible]宮城山、岩木[illegible]、鞍ケ嶽、大蛇山、能代潟、三杉磯、[illegible]の姿が見えた[illegible]

鞍ケ嶽(能代潟) 太刀光(大蛇山) 阿久津川(若[illegible]) 梅[illegible](平錦) 小牛田山(藤の川) 瀬戸山(大鳳) [illegible](宮城山)

五日目取組

金王山(神の石) 開月(梨ケ濱) 太刀光(神力) 勝錦(大蛇山) [illegible]

[illegible]新派劇『人生の位』[illegible]『光』[illegible]等にして入場料は普通一等九十錢二等五十錢[illegible]

意氣軒昂

[illegible]一二三四回まで兩軍得點なく[illegible]

壯快なる庭球戰 京軍強襲して零敗す 頽勢挽回途に期し難く 此日試合中止を宣す

京城庭球界

[illegible]鮮滿軍の[illegible]降雨と洪水の爲めに決戰を試みるに至らず[illegible]勿論一般好球家も[illegible]朝鮮庭球界の覇者神戸高商[illegible]が我體育協會の招聘で渡鮮し全京城軍と三回戰を決行するに[illegible]なつたので[illegible]對抗戰の[illegible]を待つてゐた十七日午後三時と云ふに

試合場たる

三井物産コートは既に[illegible]滿員[illegible]最うコートで試合前の練習を續けてゐた。[illegible]安藤[illegible]常の盛況であつた三[illegible]喧[illegible]選手の顏合がありオーダーの

交換を終る

戸軍の陣營からフレ〳〵神戸![illegible]若々しい聲が起り[illegible]

主將の顏合

[illegible]七時四十分を過ぎてゐたので暮[illegible]濃く垂て戰ひも困難となり一對一のゲームで遂に[illegible]の午後八時を過ぐ、爲めに審判者は試合中止を宣してドロンゲームに

無理押しに

[illegible]しくも[illegible]池原大前[illegible]原公野、武田久保の三組[illegible]

勝敗を決し

[illegible]京城軍の[illegible]つたのは殘念であつた、兩軍の[illegible]は左の如し

神戸軍 京城軍
○鳥飼[illegible]三……一[illegible] 池原大前○
[illegible]

試合經過

[illegible]

神戸高商 對 京城 二回 庭球戰 神戸軍優勝 不戰三組にて捷つ
法政軍對 スタンダード 野球戰 法政軍八對三にて大捷す

雨中の野球戰 京倶善戰健鬪せしも 四對零にて零敗す 雨の爲七回戰に終る

[illegible]

本日勝負 [illegible]

たが驟雨に見舞はれ一時試合を中止したもの、試合再開後は法政軍優勢遂に四對零にて七回戰を以てコールド、ゲームを宣せり京城倶樂部善戰せしも遂に[illegible]

(法政)

稲垣	2	1	0	1	0	0	2
[illegible]田	4	0	1	0	0	0	0
酒井	4	0	0	0	0	1	0
[illegible]本	2	0	1	1	0	1	1
[illegible]	2	1	0	0	0	0	1
[illegible]	2	0	1	0	0	1	1
[illegible]口	2	1	0	0	0	1	1
[illegible]澤	2	1	2	0	0	0	1
[illegible]田	2	0	0	0	1	0	1
	22	4	5	2	1	4	8

(京城)

6	勝 木	3	0	0	0	0	2	0
7	松 村	3	0	0	0	0	1	0
2,1	松 浦	3	0	0	0	0	3	0
1,4	佐々木	3	0	1	0	0	2	0
9	一ノ瀬	3	0	0	0	0	0	0
5	宮 林	1	0	0	1	0	0	1
4,2	小坂部	2	0	0	0	0	1	0
3	中 島	2	0	0	0	0	0	0
8	野 村	2	0	1	2	0	0	0
		22	0	2	3	0	9	1

▲第二回 法山本盗三間を抜きて安打に出で[illegible]
△第三回 法川口三振横濱、小野田四球に出でしも稲垣二飛、疋田投飛にて點をなさず△京中島遊飛、野村遊ゴロ[illegible]
△第四回 法酒井中堅飛球に退き後山本四球に出でしも朝左翼飛球に死し田邊の三塁ゴロ[illegible]
△第五回 法川口四球に出で横澤三塁に進み[illegible]
(雨止み試合續行す)[illegible]
△第六回 法山本三塁[illegible]
△第七回 (京倶松前投手に小坂部[illegible])[illegible]

殉難追悼會

龍山在鄕軍人[illegible]十八日午前十一時より龍山[illegible]小學校講堂に[illegible]殉難者一同參列[illegible]追悼會を[illegible]

殉難追悼會

龍山在[illegible]尼港殉難[illegible]は十七日午前十一時半より龍山[illegible]寺に於て執行された[illegible]今更ながら殉難者の無殘なる最後を偲び[illegible]

各地最高溫度

京城 九十度 (十八日午後二時本社測候局)

(十七日)

大邱		八十八度三
神戸		八十五度五
釜山	晴	九十五度
木浦	晴	八十九度
群山	曇	八十二度
大田	晴	九十二度
清州	晴	九十度
平壤	曇	八十七度
元山		八十度四
咸興	雨	八十一度
雄基	雨後曇	七十八度八
清津	雨	七十五度二
安東		八十二度

京城府廳の[illegible]防府は[illegible]洞窟のやうな[illegible]毎日お定まりの[illegible]こに詰まつて記者を捕へると必ず孔子様はなまこ御說法に及ぶ▲處が御大の齋藤府尹ごなると行動の記者を混雜ご間違へた如な眼付きで必ずあの肥滿した自るからにムズ擋いそうな身體をユスッテ一寸やソットでは口を利かない▲それで居て助興税なごを徵收する事に妙を得てゐるのだから御兩所共に羊頭を懸けて狗肉を賣る底の油斷は無用居士である

大阪株式(至急電報) 十七日 前場寄付
同新 ……一三五、三〇
東紡 ……二二六、二〇〇
東新 ……一九〇、〇〇
堂米 ……
上取 ……一一七、三〇

朝鮮三十大本山御用達所 各宗御佛壇佛具調進所 京城本町貳丁目 「おぐらや」 小倉佛具店 電話一五七一番 振替三九五二番

良藥苦口 甘い葡萄酒の一杯よりも苦くとも人蔘エキスの一杯を召せ 經濟にして効果數倍 即ち一擧兩得 朝鮮京城本町 津村兄弟商會 電話一四八〇番 振替京城三一五一一番 電略(ツ)又は(ツム) 電話一八七〇番

珠算 責任養成 講師本學校長尾崎喜一先生(校內生)募集せず貳百以上) 諸典大卒新通信數 規則書郵券四錢送れ 電本局三二四八 振替大阪四七八一七番 名古屋市西區本重町一丁目 尾三速算學校

火災恐るべからず 不用意恐るべし 諸君の部落には完全なる消防組の設備ありや (ポンプカタロク進呈) 京城 熊平支店 電話長三六二四番 電話京城二一二五番 振替京城一二二番

米國製ヴイクタア 蓄音機各種 右型錄御申込次第進呈ス 輸入元 WWテイラ商會 輸入品御小賣 特約店 三好屋商店 京城黃金町二丁目七〇番地 振替京城四八一〇番

京城電氣商會社 一手販賣 コールタル 龍山漢江通六八 電話九百六十番 金物商 島田忠作商店

大蛇山陥し梅　若宮城山破り三杉磯　……大蛇の脚▲立ち上り小手田を差しこなるを……大刀光……土俵際に……太刀泉川にて土俵際に詰め行き師の勝▲潮見山に……は立上り右……土俵際に三杉上手……

安東財界混沌
豫想外の困難＝回復の見込なし

安東縣の市況は一部作物の關係に於て中て相場動きを見たる外木材豆粕等類は依然として取引を見ず一般に沈靜を持續し居る狀態にして金融界も相變らず梗塞一方にて聊かも緩和の曙光を認め難し殊に銀市場は一昨相場の變動著しき時に於ては一日四五百兩の手合せを見たるも昨今は高低の差著しからざる爲め二三百兩内外を昂降しつゝあり又建築界も依然萎微として振はず各建築請負業者は

唯手を束ねて景氣回復の期を俟ちつゝあるも今年も早七月の中旬に入りたる事とて今後一二箇月中に於ても目覺しき新工事の出で來るものとも思はず前途を悲觀されつゝあり又木材商側にありても一時……せられしシンジゲート組織に一頓挫を來したる爲に外觀平穩を裝ひ居れるも内部の困難は想像外にあるが如く某木材商の如きは某倉庫に入庫したるものを勝手に持ち出し他に轉賣したるやの噂あり益々金融業者の惡感を強める等の事あるを以て各銀行より成る金融會は殊に上運河船倉庫、安東商事信託、安東興業等の金融會社、倉庫業者と

集會協議し大いに警戒を與へたる事實あり斯して亂するに到らば安東の金融界は益々逼迫の度を高むるに到るべし亦眼前の問題として横はるは安東銀行を滿洲商業銀行に併合する問題なるが其の時期は遲くも來月中なるべきを以て愈々併合實現の曉には幾分の緩和を期待せらるゝも決して多きを望むべからず唯々兩行併合の上一大整理を斷行するに於ては朝鮮銀行に繋がる滿洲商業銀行の信用向上は最も注意すべき事に屬すべし(安東縣)

容易ならざれば木材の輸送を中止せよとあり又安東の爲替業者も財界の危險を顧慮して爲替を取組まざる由なれば折角天津方面行き木材の取引活氣を呈せんとする矢先切つて一大頓挫を來したりといふ(安東縣)

時局と木材
天津行頓挫

採木公司の取扱にかゝる本年の流下材は別項所報の如く約千二百臺に達したるが此の内去る十日まで支那商人の手を經て賣却せられたるは七百八十臺三十一萬四千八百四十運にして其の價格は九十三萬一千七百三十八兩に達し之を現在の日貨に換算する時は百七十二萬三千七百十五圓餘に達すべし然るに豪雨增水あり新材の流下漸く旺盛を極めんとする際に於て突發したる今回の北京政變にして支那人間は時局の前途を頗る悲觀し殊に十三日より十四日朝に亘り大連方面よりの入電は直隸省……付近に於て兩軍の衝突あり事態

市街擴張問題

大田面の擴張問題に就ては前高……郡守時代に於て其擴張區域を決定したるも元來指定面は市街地税賦課區域を以て區劃せらるべき事が從來總督府の方針なりしより從つて其の査定したる新地域に對し果して市街地税を賦課し得らるべきや否やが其筋の疑問となりたる爲め自然行惱みとなりしには非ざるか然れども將來の計畫を起して所謂大都市的施設をなさんとするに當り市街地税賦課を標準とするが如きは之れ姑息なる手段に外ならざれば市民は徒らに個人的感情に制せられたる末梢者流言を信ぜず此の擴張問題に向つて研究すべき事は大田刻下の緊要事なり(大田)

潭陽の作況

潭陽は本道の東北端に位し東及び北は全北の淳昌郡に境し東は谷城郡南に和順郡北は長城郡西は光州郡に隣し四圍悉く山岳を繞らし郡内僞面、龍秋山上より源を發し郡の中央を貫流して榮山江に注入する龍川の流域は天然の沃野で東西三里南北一里半は所謂潭陽郡平野を成し四圍の谿谷より流下する支流は水量の多い爲め旱天でも旱魃の憂ひなく天然水を唯一の頼りとする朝鮮の田畓としては此れ位安全な地方はないのである、即ち潭陽は凶年知らずの地と云ふべきか然も水利に伴なふ河川の氾濫は免れざる現象だが支橋南畓に多少の溢水を見るのみで赤水郡は水害らしい水害は認める事が出來ないのだ三年に一度五年に一遍は災害を見越さねばならぬ農業に年中豐年なりとあつては結構過ぎる次第である(光州)

大邱商議總會

大邱商業會議所は十六日午前九時より商議樓上會議室にて役員會を開催し總會に附議すべき大正八年度決算報告の件を審議し大邱公會堂設置に關して松井府尹と協商する處ありたり(大邱)

南港修築陳情

釜山南港修築案を携へて去十二日慶南道廳に赴き佐々木道知事以下各部長の諒解と多大の贊同を得て十五日午後一時……により……せる本田釜山府尹は廿日同府の……組合會議を

廳舍敷地測量

全北道廳は從來狹隘にして執務上の不便少からず新築設備ならざりしは既報の如くなるが其後土木課知事官舍所在地に一大新廳舍を建築す可く著々測量を進め居れり聞くところに依れば現廳舍の背後の知事官舍を移し警察署を新築道廳前に新築の上る……に決し來月頃より着手する筈なり(全州)

大邱組合會議

十五日……の大邱學校組合……協議會に於て可決せる……の件及其他の……料……補助申請の件を具し來る十九日大邱府廳樓上會議室に於て大邱學校組合會議を開く事にして終つて舊組合……の小倉同會長より……報告すべしと(大邱)

檢病戶口調査
患者二名發見

十四日平壤警察署にては平川里、大同江……、橋口町等に亙り檢病的戶口調査を斷行したるがその戶數二百卅二戶人口九百卅八名なりしがその結果……チブス患者一名……疑似患者一名を發見したりと(平壤)

群山東北人會
會員授與式

群山東東北人會は同會役員……米吉氏より邸宅なる會館……を受くることゝなり七月十六日より大倉邸内を會場とし會館授與式を兼ね會員相互の親睦を計る爲め園遊會開催の筈(群山)

流筏は四千臺
鴨江の增水で蘇へつた木材界

既電の如く去る十三日以來の豪雨は鴨綠江上流地方にも延びたる由にて十五日採木公司に達したる報告によれば長甸附近にて二尺乃至二尺五寸、十三道溝に於て三尺、通化に於て四尺、八道江に於て二尺五寸、帽兒山に於て四五尺の增水ありたりとあり又十五日の鴨綠江下流にて三尺五寸の增水を見たりと云ふ尚は引續き十五日も多少の降雨ありたる模樣なれば上流も益々增水を見たるべし是によつて久しく渇水の爲めに苦しめられたる流筏も順調に行はるべく鴨綠江流域には既に六百臺の編筏終りたりとの入電ありたる由なれば今後一週間後よりは著々筏の來着あるべし因に去十五日までに採木公司の流筏は料筏材一千二百臺外に直營材約百臺あり今回の降雨と增水により今年の流筏は頗る悲觀するの要なく約四千臺の到着は易々たるべしと採木公司にて觀測し居れり(安東)

春蠶と桑葉

大田郡に於ける本年の春蠶掃立は豫定より減少したるを以て隨つて桑葉に剩餘を生じたる爲め販賣も少からず之れ要するに本年の繭價は前年に比し低廉なりしに因るも養蠶飼育は農家の副業として婦女子の家内業務としては好箇の事業たるを以て大田蠶業組合にては大いに獎勵をなさんと當局者に於て盡力する處ありたり(大田)

椎尾博士講演會

……十二日來鮮の豫定なる椎尾辨匡博士は……に於て朝鮮佛教徒の爲め……問題につき講演を……云ふ(釜山)

警官講習所擴張

……によれば總督府にては……講習所を擴張し……科を本科……教習科……に分ち本科は警部を……豫て之が實現を見る……(全州)

講演會開催

一、演題　國民思想の將來
一、講師　朝鮮佛教各宗聯合會理事長　文學博士　椎尾辨匡師
一、日時　十九日午後七時半より
一、場所　仁川歌舞伎座

主催　仁川各宗寺院聯合會　京城日報仁川支局

地方の讀者より

＝惡辣十遊館＝

七月十日夜安州から……自動車に乘り……漸く……明朝……自動車にて……二台に分乘して出發した……行は乘れない……自動車は……恐喝……の不都合である……(迷惑生)

俠客奇譚 祐天吉松　第一〇〇席
神田伯山講演

大きく見るより常五郎カッと怒つて枕を取るより早く『常、此の野郎、何をするッ』と突然三人に打つて懸つたが如何にせん多勢に無勢、忽ち殴り倒され、四人の者は十兩を奪つて飛出しました、常五郎はバリ〳〵齒嚙みをして居たが、ガラリと手荒く戸棚を開けるや中より取出した長脇差『常、野郎待ちやアがれ』と飛出さうとするのを、還暦つる阿母が確りと鞘を押さへて『アゝ常や暫く待ちなさい』と止めなさんな、どうしてもモウ我慢は出來ねエ『イエ〳〵其の短氣をするものぢやアない、己が止めるんぢやアない、己が止める此子が止めるのだよ、お前……

が悪いのでお前にして貰ふやうな始末、何一つする事も出來ないで、皆なお前のお世話にならなけりやアならない、夫れがお前に氣の毒でね、けれどもモウ阿母さんも長い事はないよ、今に死んで上げるからね』常『マア阿母、何んだつてそんなつまらねエ事を云ふんだなア、お前に死なれちまつて俺一人で、ナニ樂みもなく生きて居られやうか』母『夫れはお前の心持を知らないで濟まなかつた、ツイ年を取ると愚痴が出る、常や默然しておくれよ、夫れに就けても思ひ出すのはアノ嫁、此んな可愛い孫を捨てゝ死んだのだらう、邪慳な……

……は子供が可愛くないかい、此の阿母の子と此子が跡で欺いてもお前は良いのかい』氣も張弓の弦切れて、後に常と常五郎『アゝ阿母、默辨して呉れねエ、己が借りた金は親の金、汝の借りた金は親の金だ一つて行かれ、突飛ばされても持ち出して呉れねエ』母『オヤ此の子が泣き出した、大分腹が空つて居るのかい、何たる意氣地のねエ奴だらう、お前の不甲斐なさ、思つて諦めてお呉んな』……

にして、私に楽しくして呉れただけあつて一層思ひが增す、又お前の母と云ふ私は那の嫁を恨めしく思ひますよ……

新刊紹介

▲紅椿（佐藤紅綠氏著）今の世にも稀で行く詩情ある妙齢の女を描いた……なる小說、……

▲朝鮮公論（七月）尼港事件と我が國策……

▲中外新論（七月）現代思潮の……

▲上海公論（七月）……

七月二十日

土用入(午前十一時二十分)

▼一白……▼二黑……▼三碧……▼四綠……▼五黃……▼六白……▼七赤……▼八白……▼九紫……

漫遊將棋

平手　七段　……　六段　……

演藝案內

黃金館　……女の望……

壽館　……小栗判官……ナムバーワン……

大正館　……アンプロースの幸……八角タンク……

大木鼻耳藥

職業　特約店募集　豐國商會

はらにカタが マリ ……進呈

建築業成急　今や建築技手大缺乏……帝國工業教育會

模範全乳　東亞牧場

家庭用改良染粉　ミヤコ染　東京小舟町　かつらや

特約販賣店　京城本町　山岸天堂佑

京日案內

▲龍山の大洪水ミ本社の寄贈!!　今回龍山に於ける大洪水は近年稀なる出水にして……マラリヤの特効薬金鷄丸定價一……

金鷄丸　京城旭町一丁目　樂天堂製藥株式會社　電話一四〇〇番

カロール　アセモ　タダレ　最新藥

著荷　卸商　京城府旭町一丁目　戸澤商店

魚釣具　投網　カスミ網　吉備商會

解雇廣告　京城府……　山本保兵衛

米國グドリッチ會社製　自動車及自動自轉車用タイヤ及チユーブ各種　ベンネット商會

一ヶ年釀造高一萬五千石　朝鮮燒酎株式會社

誰れにでも出來る心靈治療法　日本心靈學會

第四回　學理と娯樂の巻

■第壹回美顔講座項目■
▲平生の顔の洗ひ方と　▲平生のお化粧に就て　東京美容研究所所長 小口みち子女史述

■第貳回美顔講座項目■
▲平生の顔の手當　▲白粉の使ひ方　東京美容研究所所長 小口みち子女史述

■第參回美顔講座項目■
▲お化粧の順序と　▲化粧品の使ひ方　桃谷順天館編輯部

「美顔講座」御希望の方は「第何回」の分を御希望の旨御申越次第御送申上げます（大阪教南通二丁目桃谷順天館編輯部）

石鹸と洗粉とは何方が好い？

桃谷研究試驗所技師　千葉藥學士　小磯勝次郎述

一概に言ふ事は出來ぬ

「石鹸と洗粉とは一體何方が好いのでせう？」之れはよく人から尋ねられる質問です。成る程何々洗粉、何々石鹸といふやうに、種々の洗顔料が賣出されてゐる今日、それを使ふ人々が迷はれるのも尤もな話ですが、之れは決して何方が好いと一概に言ふ事の出來ない問題でありま す。何うしてもざつと一通り、石鹸や洗粉の出來た根本の理由及び石鹸や洗粉夫れ〴〵の特性といふ風な事を知つた上で、自分の皮膚には何方が適するかを考へて決定すべき問題であります。所で此の自分の皮膚に適した洗顔料を選ぶといふ事は非常に大切な事で、謂はゞ美容法の根本義とも言ふべき問題であります事は、既に「美顔講座」に於て、美容術の大家小口みち子女史が委しくお話しになつた所でも明かですから、私はこれから學理上の立場から石鹸と洗粉との性質をお話しして、皆さんが御自分自身で、自分には何方が適してゐるかを御了解願ふやうに致さうと思ひます。

顔の汚れの落ちる理由

自分には洗粉と石鹸と何方が適するかといふ事は、先づ第一に、何故洗顔料として洗粉や石鹸が出來たのかといふ事を知れば自然に分つて來ます。而て其れを知るには、先づ「皮膚の汚れは何ういふ理由で落ちるか」といふ事を知る必要があります。之れが分りますと、洗粉と石鹸といふものゝ出來た理由、及び洗粉と石鹸との特性が分り、從つて何方が自分に適するかといふ判斷が、比較的確實に出來る事になるのであります。それで私は順序として、第一に顔の汚れの落ちる理由からお話致さうと思ひます。此の理由に就いては三つの說が立てられてゐます。

泡沫で落ちると云ふ說

第一の說は「汚れは泡沫で落ちるのだ。」と言ふのです。此の說に依りますと「人の皮膚から汚れを落すのは泡沫の作用だ。」と言ふのです。即ち石鹸が汚れを落すのは、石鹸其の物の成分の作用といふよりも、泡沫が其の包含吸收の作用に依つて、皮膚の表面から汚れを吸取つて包んで持つて行くのである、と斯う說くのであります。從つて泡沫の出るものでさへあれば、石鹸に限らず莢麼ものでも汚れを落す力がある。現に或る種の野蠻人の間には、石鹸などは勿論無いのであるが、ゴゴー（美男かづらの類）ツブ（ムクロウ樹）等の樹皮を水に浸して皮膚を摩すると泡沫が出る、其の泡沫が皮膚から汚れを包み取つて持つて行つて終ふから皮膚は綺麗になる、斯ういふ事をして清洗の目的を達してゐる人達もあるが、之れはつまり泡沫といふものゝ物理的性質が然うさせるのである、と斯樣に說いて居ります。此の說は相當立派な學問的の說でありますが、私達は尚外の說をも聞いた上で能く考へなければなりません。

鹸化作用で落ちるのだ

第二の說は「汚れは鹸化作用で落ちるのだ。」と言ふのですが、之れは分り易くお話しますと斯うなります。

一體化粧石鹸とは化學的に言へば、各種の脂肪を苛性ソーダと共に熱しますと、脂肪は其の成分たる脂肪酸とグリスリンとに分れ、其の脂肪酸は同時に苛性ソーダの中のナトリウムと化合して脂肪酸ナトリウムといふ化合物が出來るのですが、此の化學的作用を鹸化作用と稱し、此の鹸化作用に依つて出來た脂肪酸ナトリウムが即ち石鹸なのであります。

さて此の石鹸即ち脂肪酸ナトリウムを水に溶しますと、其の一部分が又脂肪酸とナトリウムとに分離します。而て其のナトリウムが水を分解して再び元の苛性ナトリウム即ち苛性ソーダと成り、之れが皮膚の表面に附着してゐる汚（主として皮膚の表面に分泌した脂肪分と、其れへ外界から附着した塵埃）の中の脂肪分を分解して、前に述べたと同じ鹸化作用を起し、脂肪分は其の成分たる脂肪酸ナトリウム即ち石鹸とグリスリンとに成つて水に溶けて終ひ、塵埃も水の中に洗ひ去られて終ふのであるから、皮膚の汚れが落ちる事になるのである、と斯ういふ風に說くのが「鹸化作用で落ちる」說なのであります。

此の說も立派に理由の立つた說であります。此の說に對して「石鹸が分解して苛性ソーダと成つて作用して、清洗の目的が遂せられるのだと言ふならば、寧そ最初から苛性ソーダを用ひたら可いでは無いか。」と言ふ理屈もありますが、併し石鹸が水の中で分解する分量は常に一定して居り、然かも單純な苛性ソーダの水溶液の如く皮膚に強く作用する事が無い事を考へて見れば、此の批難は當らない事になるのであります。

兩方を併せて今の石鹸

以上の「汚れの落ちる理由」の二つの說には、何方にも相當な理由が含まれて居ります。それで現今化粧石鹸として市場に販賣されてゐるものは、要するに此の兩方の說を併せ用ひて出來たものであります。ですから石鹸は之れを用ひますと、其の一部分が水に分解して出來る苛性ソーダが鹸化作用を呈すると同時に、盛に泡沫が立つやうに製してあります。つまり鹸化作用に依つて汚れの中の脂肪分を、石鹸とグリスリンとにして水に溶し去ると共に、泡沫の物理的性質に依つて塵埃を包み去り、同時に其の泡沫を媒介物として乳化作用を起し、脂肪分も水の中へ取去るやうに工夫して製へたもの、其れが即ち現今の化粧石鹸であると說明するのが適當であらうと思ひます。

因に、乳化作用と申しますのは、脂肪のやうな水に溶けないものを、或る媒介物を加へて水と混ずるやうにする作用を言ふのです。彼の牛乳の中に脂肪と水とが混合してゐるなどは乳化作用の一例であります。

洗粉の製へられた理由

右の樣に、石鹸には乳化作用と泡沫の吸收作用とに加へて鹸化作用が伴ひますので、荒れ性の人に對しては、或は強過ぎて皮膚を刺戟する虞が無いとは斷言が出來ません。それで此の點に工夫を施した物が、製造者にも需要者にも要求される事になつたのでした。

御存知の通り、米糠、大豆、小豆等のやうなものには、可なり多量の蛋白質と脂肪とが含まれて居ります。而て又是等のものは水に溶ふと石鹸のやうに泡沫を發しますので、清洗作用に就いての第一の說に說かれてゐるやうな、汚れを吸取り包み去る性質をも備へて居りますから相當清洗の効力を持つてゐるのでありますが、併し是等のものは石鹸の如く鹸化作用を起すやうな性質は持つてゐませんから皮膚の表面を荒す虞は少いといふ良い點がある代りに、甚しい汚れを落すのには力が弱いといふ事になるのであります。

此の穀粉類と石鹸との兩方の性質を考へ加減して出來たのが即ち洗粉といふものであります。ですから洗粉は多くの場合、前に述べましたやうな穀粉類に、多少鹸化作用を生ずるアルカリ性の物質を少量加へて、微弱な鹸化作用を呈すると共に包含吸收の作用をも伴つて、清洗の目的を達するといふ理論に依つて製へられてあります。

以上お話致しました所からお考へになりましたら、石鹸と洗粉とは、何方が好いといふやうなもので無く、使ふ人の皮膚に依つて適不適を決すべきものである事がお分りになりませう。そして何ういふ皮膚の人に何が適するかも凡そお分りになる事と思ひます。即ち極く一般的に申して、脂肪性の人や汚れ易い人には石鹸が好く、荒れ性の人や皮膚の軟弱な人達には洗粉が適するといふ事になるのですが、尤も石鹸と言ひ洗粉と言つても品質には區々ありますから、注意して品質の良いものを選ばねばならない事は申すまでも無い事であります。尚洗顔料にも此の頃では石鹸や洗粉ばかりで無く、外に新しいものも出來て居ります。是等のお話は又更めて述べませう。

□おはなしの家□（二）

月宮殿の兎

桃谷順天館編輯部　長野晴濱

一 娛樂室にて

十條家の奥樣、美しいお孃さん方や坊ちやん方のお母樣は野路子と仰在つて、お年は三十二、お子さん方と一緒に美顔化粧料の愛用家で、大層美しい方で御座います。奥樣は併し容貌が美しいばかりでは被居いません。お心の美しい事はまた其れ以上で被居います。そして、お忙しい御家事の御用事の暇々には、お子樣方を集めてはよくお話をして聞かせになります。時折はお子樣方のお友達や、旦那樣、女中の方の面々までが一緒になつてお話を聽いて樂しみます。皆樣が鄭く眼を見張り、顔に薄い血の色を上せ、朗かなお話に聽入る光景は、ほんたうに和氣靄然、お家の内に和かみが滿ち溢れて、繪にでも書き度いやうな美しさです。

今晩もお夜食が濟みましてから皆樣が集つて遊ぶ事になつてゐる娯樂室で、奥樣のお話が始まりました。今日は旦那樣もお加はりになりましたので、御話は旦那樣と二人の坊ちやん（假に太郎さん次郎さんと言つて置きます）と三人のお孃さん（假に伊代子さん富士子さん三々枝子さんと言つて置きます）とお小間使のおこまさんとお針のおはりさんと乳母のおちゝさんです。電燈は煌々と此の綺麗なお部屋を照してゐます。硝子戸を開放した廊下からは、お庭の緣の樹々を渡る涼しい夜の風が、そよ〳〵と流れ込んで參ります。奥樣は靜かにお話をお始めになりました。先程美顔洗粉でお洗ひになつて、肌色美顔水で手早くお化粧なすつたお顔は、艶々しく輝きました。「あなた方は何でお月樣の中に兎が居るのか知つてゐますか。」と野路子奥樣はお話を始めました。お子樣方は目を圓くして顔を見合せました。「奥樣は然ういふ事までちやんと御存知で被居る。」と言つて、乳母さんとお針さんは感心したやうな眼を見交しました。

二 獸ながらも

昔々天竺の或る山奥に一匹の猿と狐と兎、此の三匹のお友達が大層仲好く暮して居りました。天竺といふのは、今の印度の事を、日本で昔天竺と言つてゐたのです。皆さんも知つてる通り、印度はお釋迦樣のお生れになつた所で、此の三匹のお友達が仲好く暮してゐた時分には、お釋迦樣の教へが大分擴つて來た時分で、此の教へを聽いた者は誰も〳〵進んで善い事を爲るやう心掛けるやうな時分であつたのです。獸の身ながら、此の猿、狐、兎、三匹とも揃つてお釋迦樣の教へを聽いた者達でした。お教へ下さるものは鳥でも草木でも、お釋迦樣の教へを聽いては、三匹とも感激の涙に成らずには居られませんでした。

三匹は寄ると觸ると此の教への話をして居りましたが、或る日一度美しい谷川の岸で暖かい太陽の光を浴びながら、三匹がまた此の話を始めた時、兎が斯ういふ事を言出しました。「私達もこれからは一生懸命に善い事をして、これまで知らず識らずやつてゐた惡い事を、少しなりとも取返さうぢや無いか。お前達は何う思ふね？」斯う兎が感慨に堪へないやうに言出しますと、猿と狐も大喜びでした。「お前の其の心掛はほんたうだ。私達も智慧の足りない者だけれど、其れは大いにやらなければならない、可し、大いにやらう。」と感慨に話し合つてゐる所へ、谷川の向岸に一人のお婆さんがよぼ〳〵と歩いて參りました。ぼろ〳〵の着物を着て、杖を便りに危げに歩を運ぶ腰は弓のやうに彎つてゐます。餘程の老年で、衰弱と飢とに疲れてゐるやうな、お婆さんです。お婆さんは谷川を此方へ渡らうとして、杖を力に淺瀬を渉りましたが、岩だらけな川の底に足が痛み、さら〳〵光つて流れて行く水に眼が眩むやうな容子で、誠に危かしい足どりです。其れを見た三匹の友達は、急遽其の方へ走つて行きました。「さあお婆さん、私の肩にお掴りよ。」と狐が肩を向けました。「さあ手を引きませう。」猿と兎が右左からお婆さんの手を取りました。「お、これは有難う、これは有難う。」と言つてお婆さんは淋しい顔に微笑を浮べました。「お前達はまあ獸の身でありながら何といふ親切者だらう。人間よりも餘程親切だ。」

三匹は斯うしてお婆さんを扶けて此方の岸へ渉らせましたが、お婆さんは到頭疲勞に堪へられなくなつたやうに、渉つて終ふと其處へ打倒れて終ひました。驚いたのは三匹で、早速谷川から水を汲んで來て呑ませたり、足腰を擦つたり、色々介抱しましたのでお婆さんは漸う正氣が附きましたが、兎ても此の上歩かす事は出來ませんでした。三匹はそこで相談して、三匹の力で此の人間のお婆さんを養はふといふ事に取りました。

三 焔の中へ！

三匹はそこで大急ぎで木を曳いて來て、藁を敷き、木の枝で屋根を葺いて小舍を造へ、其處へお婆さんを入れました。さうして三匹は毎日代り合つて食物を捜しに出かけ、二匹は家に居てお婆さんの面倒を見る事に極めました。お婆さんは大變な喜びで、衰へきつてゐた體も段々と元氣附き、皺だらけの顔も次第に色艶がよくなつて來ました。

ですが此處に一つ困つた事が出來て來ました。三匹の中で、兎の顔は段々と憂ひに曇つて來たのでした。何故だと言ふと、何うも不思議な話ですが、外の二匹、猿や狐が食物を捜しに出る當番の時には、乾度果實や芋やら、色々の物を澤山に集めて持つて歸るのですが、兎には不思議に食物が澤山に見附からないからでした。兎は決して怠けてゐる譯でもありませんでした。あの猿と競走をした兎とは全く別の兎です。兎は一生懸命に朝早くから日の暮れるまで、目から血の出る程にして捜すのですが、何うしても外の者ほど澤山に食物が見附かりません。それも日が經つに連れて益々少くなつて來るばかりですが、猿や狐がお當番の時には、矢張始めの通り澤山に食物を取つて參ります。斯ういふ事が度重なつて來たので、始めのうちは心配するなと言つて慰めてゐて呉れた友達の猿や狐も、よく兎に向つて不足を言ふやうになりました。「兎公怠けて午睡ばかりしてゐるんだらう。」「然う骨惜みをして己達にばかり働かすなんて非道い奴だ。」猿と狐は時折惡態をまで言出します。するとお婆さんはお婆さんで、「兎公の横着には倦れ返つて終ふ、最早怠惰者なお前達の友達ぢや無いよ。」などと言つて二匹にけしかけますので兎は眼を赤くして泣かずにゐられませんでした。

「私の此の心が、何うして天に通じないのだらう。何うして友達やお婆さんに通じないのだらう。あゝ、私は何うしたら可いだらう。」憂ひ歎いて、兎は毎晩のやうに獨り眼もねむらず、そして考へる事も多いのでした。そして考へた末、終に非常の決心をしたのでした。

「今日こそは私は屹度御馳走を皆に持つて來る、屹度、屹度持つて來る。」自分のお當番の日、兎は決心の色を現して、斯う言つて家から出て行きました。けれども天は何處までも兎に幸ひしませんでした。危險を冒し、疲勞を堪へて、歩いても歩いても、到頭少しの食物も見附かりませんでした。歎いても歎いても、何うにも爲樣がありませんでした。日も暮れました。「あゝ己は最後の決心を行ふ時が來た、最早歎くまい。」兎は斯う決心して家の方へ歸つて行きましたが、最早歎くまいと思つても、涙が後から後へと溢れて來ました。

「さあ御馳走を持つて來たぜ。」でも兎は元氣よく家の後の方から皆に呼びかけました。「今直き持つて行くから、小舍の前へ火を焚いて呉れ。」斯う言つてまた皆が見ゐない方へ姿を隱しました。「これは不思議だ。」と言ひながら、猿と狐は早速小舍の前へ枯木を積んで火を焚始めました。

「そら御馳走を持つて來た。」火が盛に燃え立つた時、兎は其處へ駈けて來て言ひました。「御馳走？何處に？」猿と狐が言ふ間も待たず、兎は忽ち身を跳らして、烈々と燃え上つた焔の中へ飛込みました。

四 月宮殿へ…

猿と狐の驚きの聲を聞いて、お婆さんも飛出して來ました。兎は最期の聲を張上げて叫びました。「皆さん誠に濟まない。私は斯うして私の肉を上げるより外に爲樣が無くなりました。許して下さい、私を食べて下さい。」猿と狐とは涙に暮れて手を合せました。其の時、其の時、あら不思議！お婆さんは急遽つか〳〵と火の中へ入つて行きました。すると燃え盛つてゐた火は忽ちに消えました。さうして其處に、今までの乞食婆さんの代りに、立派な〳〵姿をした帝釋樣が立つてゐました。そして眞黒焦と成つた兎の外、眞白に、今までよりも一層美しくなつた兎が帝釋樣の足下に平伏して居りました。「者共聽け。」と帝釋樣が嚴かに仰在いました。「私はお前達が日頃善い事を爲ようと相談し合つてゐる事を天にゐて聽いてゐた。だが獸の事だから、果してそれ程までに行へるか試す爲め、假りに老婆の姿に變じ、お前達の所で世話になつて見たのだ。お前達は獸に似合はず立派な者共であつた。わけても兎は此の身を殺して仁を爲すとは此の事だ。猿と狐は長く〳〵幸せに暮せ！それから兎は、天に昇つてあの月宮殿に住まへ。者共さらば………。」

猿と狐が有難さに伏拜みますと、帝釋樣のお體は自然に宙に浮び上つて、天の方へと昇つて行きました。兎の體もまた自然に空中に浮上り、折から山の端を離れて鏡のやうに光り渡つた月の都へと昇つて行きました。それから後長く、兎は長く月宮殿に住んでゐるのです。先づは之れにて目出度し〳〵。

――――

野路子奥樣が斯う話し終りますと、旦那樣が先づ口をお開きになりました。「其の話は何だか讀んだ事があるやうな氣がするが、最早能く記憶してゐないが何かに出てゐるんだね？」「それ、今昔物語に御座いますでせう。」と奥樣が仰在いました。「ねえ、皆さん、これは今昔物語といふ本に出てゐる話なのよ。皆さん最早少し大きくなつたら讀んで御覧なさい。面白いお話が色々ありますから。」【終】

「月宮殿の兎」【終】

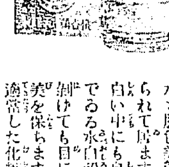
光榮ある美顔化粧料三十六種の内

桃谷研究試驗所創製

白粉の部

美顔白粉

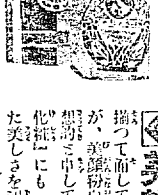
餘り專門的に研究されて居なかつたのを、專門の學者が學術的に研究して完全な白粉を創製したのが美顔白粉です。生れつき色が白いやうな白さに附く白粉として、益々好評を博して居ります。



從來化粧品に[illegible]

白色美顔水

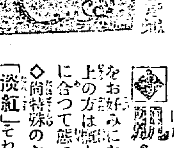
粉の原料と或る美容素とを土臺にして調製した化粧料ですから簡單に而して何處にも美しく上品なお化粧が出來ますので、お忙がしい方や化粧馴れない方にも大層喜ばれてゐます。



光澤の優れて美しい白

固煉美顔白粉

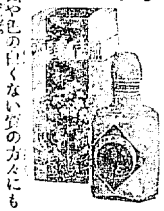
の「がくや」です。化粧の色澤、保ちなど總てが優秀なので非常に好評で御座います。濃化粧にも薄化粧にも得も言へず美しく氣持よく附き、毎日白粉を使はれる方にとつては、又經濟的で御座います。



一口に[illegible]

肌色美顔水

白色美顔水に輕い肌色を含ませたもので此頃大分流行つて參りました「肌色化粧」には多く此の肌色美顔水と肌色美顔粉白粉とが用ひられて居ります。肌色美顔水は白い中にも自然の肌色を含んでゐる水白粉ですから、附けても目に立たず長く化粧美を保ちます。中年以上の方や色の白くない質の方々にも適當した化粧料として非常に好評です。



美顔粉白粉

粉白粉は分子の細かい事が揃つて而して細かである事を貴びますが、美顔粉白粉は斯ういふ點に於て理想的と申しても差支ありません。「粉化粧」にも「薄化粧」にも凡て卓越した美しさを現します。

肌色美顔粉白粉

前に申したやうに肌色をお好みになる方のために創製致しましたのです。中年以上の方は概して白い白粉よりも肌色の白さがしつくりと肌に合つて態とらしくなく美しく見えるものです。

◇尚特殊のお好みの方々の爲めに美顔白粉の「肌色」と「淡紅」それから白色美顔水に輕い淡紅味を加へた「淡紅色美顔水」及「淡紅色美顔粉白粉」も出來て居ります。

光榮ある美顔化粧料三十六種の内

桃谷研究試驗所創製

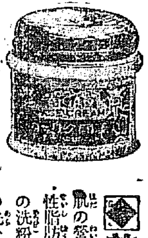
皮膚美料の部

美顔ユーマー

日焼けや荒れを防ぎ、皮膚美を增す濃厚美容液で御座います。又白粉下としてお用ゐになれば白粉のノリ、ノビが思ふまゝになり、男子方が顔剃後にお用ゐになれば剃刀かぶれを防ぎ、又常用して日焼や荒れを防ぎます。ユーマーを常用せられる方の顔色は確に美しう御座います。

美顔クリーム

質の輕い事は舶來品に優るクリームであると云はれて居ります。荒れ性の方の地肌を整へるには勿論、荒れ性でなくても「粉化粧」其の他のお化粧に此のクリームは無くてはならぬものとなつて居ります。

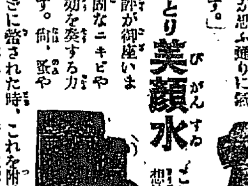


美顔水

垢ヌケして美しくなる透明の化粧水、脂肪性の方が平生お顔の手入をするに一番適してゐる化粧料で御座います。又これを白粉のトキ水にお用ゐになれば、白粉のノリやノビが自由になり、たとへお化粧馴れない方でもお化粧が思ふ通りに氣持よく出來ます。

にきびとり美顔水

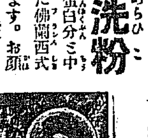
これは藥ですが、理想的のニキビとり藥として既に定評が御座います。非常に頑固なニキビや吹出物にも奇効を奏する力を持つて居ます。尚、蚊や南京虫などに螫された時、これを附けると不愉快な痒さが止り、後が腫物などに成る心配がありません。



洗顔料の部

美顔洗粉

肌の營養となる蛋白分と中性脂肪とで出來た佛蘭西式の洗粉で御座います。お顔の洗ひ方は美容の根本ですから、洗顔料はよく〳〵良いものを選ばねばなりません。



美顔石鹸

これは純粹の化粧石鹸でありまして、お使ひになつて非常にノビがよく氣持のよい品で御座います。